

一般質問

大雪被害の農家支援策について



やまなか すずむ

日本共産党秩父市議会議員団 山中 進

問 被災から10カ月、経過したが、被害農家から「申請書類が難しい」、「いまだに撤去費用の助成金すら受け取れない」などの声が11月になっても寄せられている。市の支援は。

答 雪害農家への市の調査では210件、申請農家は79人が希望、59人が申請完了、11月下旬補助金支払い手続きが完了。12月は17人に支払予定。残り20人が所定の手続き中であり、来年度の支援事業についても国県に要望している。

●庁舎・市民会館建設計画について

問 市は合併特例債を32億5千万円と大幅に増額し、10月14日、市庁舎及び市民会館建設の再入札告示、再入札を実施、工事契約、来年1月には、建設の着工を考えている、今回の3回の入札も不調となり随意契約で建設に向け進めようとしている、合併特例債は借金であり、将来世代の負担・不安はますます増加するが。

答 市の合併特例債借入可能額および基金積み立て分を合わせると247億2千5百万となる。借入

額は25年度実績では153億1千9百万円、償還期間（返す期間）25年となっている。庁舎等建設工事にかかる合併特例債の借入見込み額は、現時点で31億6千万円であり、利子1・1%で試算すると4億8千9百万円、元金および利子分を合わせた償還見込み額は36億5千万円となり、交付税算入額はその70%の25億5千5百万円が見込まれる。（※10億9千5百万円が市の借金となる）



つぶれたビニールハウス、みなさんの要望を聞く

◎市子ども子育て支援について

市民生活の安心・安全をめざして



さいとう

日本共産党秩父市議会議員団 斎藤 捷栄

●市役所・市民会館建設

問 今回入札業者及び入札状況は。

答 形態別では単独業者が1社、JV業者が2社で、初日は3社、二日目は2社、三日目は1社が入札しているが、いずれも予定価格を上回り落札には至らなかった。

問 合法談合ともいえる、不落による随意契約交渉はいつまで続けるつもりなのか。

答 26年いっぱいを考えている。

●教育委員会制度改革

問 地方教育行政法はどのように変わったのか、その特徴は。

答 ①教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置、②教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化、③総合教育会議の設置、④首長による「大綱」の策定の4点が特徴として挙げられ、首長と教育委員会との連携強化を図るなど抜本的改変がされているが、教育委員会は教育行政の最高執行機関として残されている。

●秩父市での新制度への移行は。

答 現教育長が任期満了まで在職、徐々に移行していく経過措置を採用の予定で、制度改変に伴う条例

改正等については、3月議会に上程し新制度への移行を準備する。

●公共施設のトイレ改修

問 学校トイレの洋式化率は。

答 校舎内57・6%、体育館77・6%、プール46・9%、屋外32・5%である。

問 公衆トイレの管理は。

答 105カ所のトイレを生活衛生課及び各支所が担当管理している。

問 公衆トイレの洋式化率は。

答 368基中164基が洋式化されており44・6%となっている。



市役所・市民会館建設計画のイメージ

一般質問

水道広域化の推進と既存施設の見直し



市民の会・絆 浅海 忠

問 水道広域化の推進と既存施設の
見直し。

答 特に期待されることは「水道施設の統合化」は事業運営に効果大であり積極的に推進し経営基盤強化に繋げたい。整備策として10年間で12の整備案を検討している。

横瀬町の姿見山浄水場を配水池に姿見山水源と浄水場を廃止。皆野町、三沢地区に配水池を新設し三沢水源・浄水場を廃止。橋立浄水場からの送水を行う。別所浄水場からの総水量を拡大し皆野水源・浄水場を廃止。秩父ミューズパークに配水池を新設し小鹿野・吉田・皆野・長瀬方面に配水。小鹿野水源と浄水場を廃止、吉田地区の水不足を解消する。各地域の浄水場を廃止することで更新費用が抑制される。秩父市の橋立・別所の2浄水場施設の役割は、さらに重要となり強靱な施設が求められる。広域化は、秩父のおいしい水を寄居・熊谷方面に送水し、県内水道一本化を目指す。

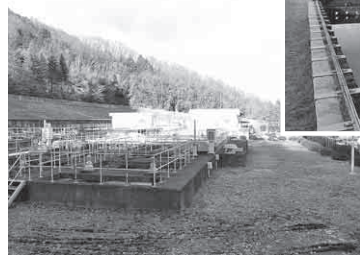
問 三峰地区の配水量不足の現状と対応策は。

答 最大給水量は日量80立方メートル。近年の観光客増大で1日最

大195立方メートルを記録するなど浄水する能力の2倍近い日が連続し、配水過多による断水が心配されている。新たに大洞川から取水する方法は相当な費用がかかる、配水池を新設すると7千万円費用がかかる。一番良い方法として配水池を作って定期的に保管し、消毒しながら使用していく方法が良いと思う。風呂水などの排水を再生するリサイクルシステムや雨水の活用を図るなど対策を検討。



橋立浄水場



別所浄水場

人口減少に歯止めをかけ、安心して住み続けられる街づくり



市民の会・絆 江田 治雄

●観光振興と街づくり

問 日本そば博覧会の誘致ができないか。

答 市では大きなイベントを行うつもりはない。そば博覧会等は民間活力による開催が望ましい。観光振興に有効と思うが今後研究する。

問 ジオパークや4ダムを活用した観光振興は出来ないか。

答 日本ジオパーク認定以来様々な活動を展開している。浦山ダムでは既に防災資料館にジオパーク秩父コーナーを開設している。また、荒川商工会が委託を受け、「浦山ダムカレール」等の食事の提供も始めた。さらに合角ダムでも周辺で発掘した資料の公開展示を検討している。引き続き、秩父地域の恵まれた資源を大切に保全し、活用することで地域振興を図る。

問 大滝の瀧谷洞(とつごくどう)の調査は、莫大な費用が掛かると認識しているが、県・国の支援を受け、進展させる事は出来ないか。

答 25年1月に県知事に対し要望活動を実施している。県議会や知事も興味を示しているので、今後積極的に働きかける。

●農業政策の支援と充実

問 地域ブランド・特産品開発は。現在、県の指定する地域ブランドは、しゃくし菜・大豆借金なし・ちちぶ太白さつまいも等11品目である。新たな掘り起こしの取り組みは、吉田地区で「吉田特産品協議会」を設立し、カボス・ユズ胡椒など新商品開発に取り組んでいる。



そば博覧会（新潟県新発田市）

◎有害鳥獣対策
◎教育の充実・小中学校の統廃合と学区の再編成

一般質問

地産地消型エネルギーの活用は



かなざき まさゆき
金崎 昌之

問 地産地消型再生可能エネルギーの活用拠点として国・県から注目されている吉田元気村の発電で、唯一欠けているのが水力発電。小水力発電や合角ダムを活用した発電に取り組む考えは。

答 小水力発電は適地を調査中。合角ダムの発電は「莫大な費用がかかる一方で、流量が少ないため発電能力が小さく、現在のところ整備は難しい」との県回答。

大規模雪害に備えて

問 大規模雪害時に「不十分な点があった」とされた自主防災組織（町会）と行政との連携の今後は。

答 地域防災計画の中の大雪対策計画に、市民による共助体制の構築を新たに明記する予定。

問 町会が主体となって取り組まれた「地域ボランティア除雪隊」の制度化、強化・拡充は。

答 町会主体の除雪には絶大な効果があった。今後も、概ね60センチメートル以上の積雪時には、同様の報奨金制度を実施。

全国学力テスト学校公表の是非

問 子どもの貧困が学力格差を生むという指摘がある。今回の学力テスト結果との関連性は。

答 そのような調査はしていないが、文科省の調査からは子どもの家庭の社会的経済的背景と学力との間に相関があると考えられる。

問 学校別結果公表による「過度の競争・序列化・個人の特定」が、子どもの学力格差を一層際立たせることになると思うが。

答 公表したことで格差が広がるとは考えていない。

除雪報奨金の町会別申請一覧

ありがとう
ございました

◆12月定例会の盆栽◆

12月定例会に盆栽を提供していただいた方は、日本盆栽協会秩父支部の新井清さん（中村町）、堀口正一さん（大野原）です。



堀口正一さん提供



新井 清さん提供

市議会を傍聴してみませんか

3月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
2月27日(金)	開会、議案説明
3月4日(水)、5日(木)	議案に対する質疑
6日(金)、9日(月)、10日(火)	一般質問
12日(木)	委員会
18日(水)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、吉田総合支所の3階です。
※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

昨年は地球温暖化の影響でしょわか、各地で大きな自然災害が発生し多くの尊い命が失われました。秩父でも2月の豪雪災害で、農業用ハウスの倒壊等大きな被害が出ました。秩父地域は災害の少ない土地柄ですが、豪雪災害は予期せぬ事態でその対応が問題となりました。

今年の干支は「未年」です。以前より未年は、穏やかな年になると言われております。この一年が平和に過ごせますようお祈りいたします。

この議会だよりも、市民の皆様へ審議の内容を細かく解りやすく伝えるよう、議会用語から喋り言葉で表現するように努力しています。また採決前の「質疑」「討論」も掲載しました。皆様からのご意見をお待ちしています。

平成27年1月 江田 治雄 記

編集委員

委員長 木村 隆彦
副委員長 福井 貴代
委員 江田 治雄
委員 赤野 秀彦
委員 高山 宏
委員 中野 進